



飛騨高山

高山市のインバウンドの取り組み

— 公衆無線LANの整備 —

平成27年6月24日

高山市

1. 海外からの誘客促進の取り組み

◆ 宣伝・誘客活動

- ・トップセールス
- ・海外旅行博出展
- ・海外メディア、旅行会社、航空会社等へのPR
- ・国内の各国政府機関・企業等へのPR
- ・国際イベント、国際会議、教育旅行の誘致
- ・着地型ツアーの造成、活用
- ・物販、交流とともにPR 等



韓国航空会社へのトップセールス



台北国際旅行博(ITF)出展

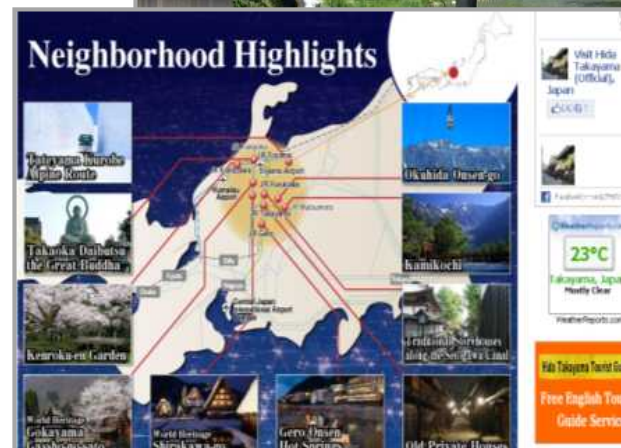


香港料理店での飛驒牛、観光PR

1. 海外からの誘客促進の取り組み

◆ 情報発信

- 多言語パンフレット作成、配布 観光パンフレット2種類6言語、散策マップ10言語
- 多言語ホームページ運営 11言語、近隣観光地をトップページで紹介（外国人観光客の視点にたつて）
- SNS(フェイスブック、微博)活用

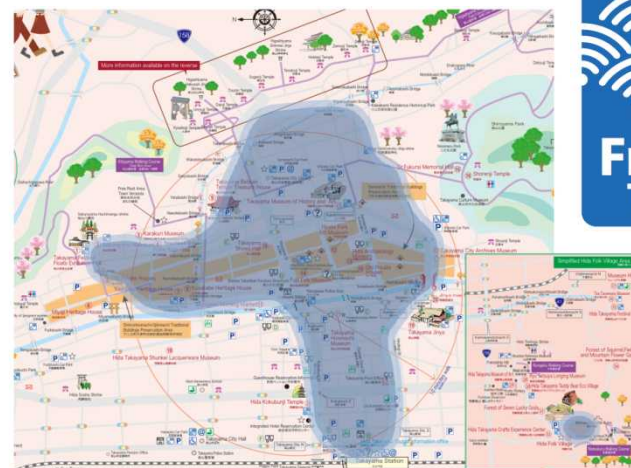


1. 海外からの誘客促進の取り組み

◆ 受入体制充実

- ・ 公衆無線LANサービスの提供
- ・ 案内表示の多言語化
- ・ 通訳ガイドの育成・確保
- ・ 外国人観光客への販売促進

※メニューの多言語化、消費税免税制度の活用



1. 海外からの誘客促進の取り組み

◆ 広域連携

- ・周辺自治体等との広域的な連携などによる魅力ある観光エリア、周遊ルート形成

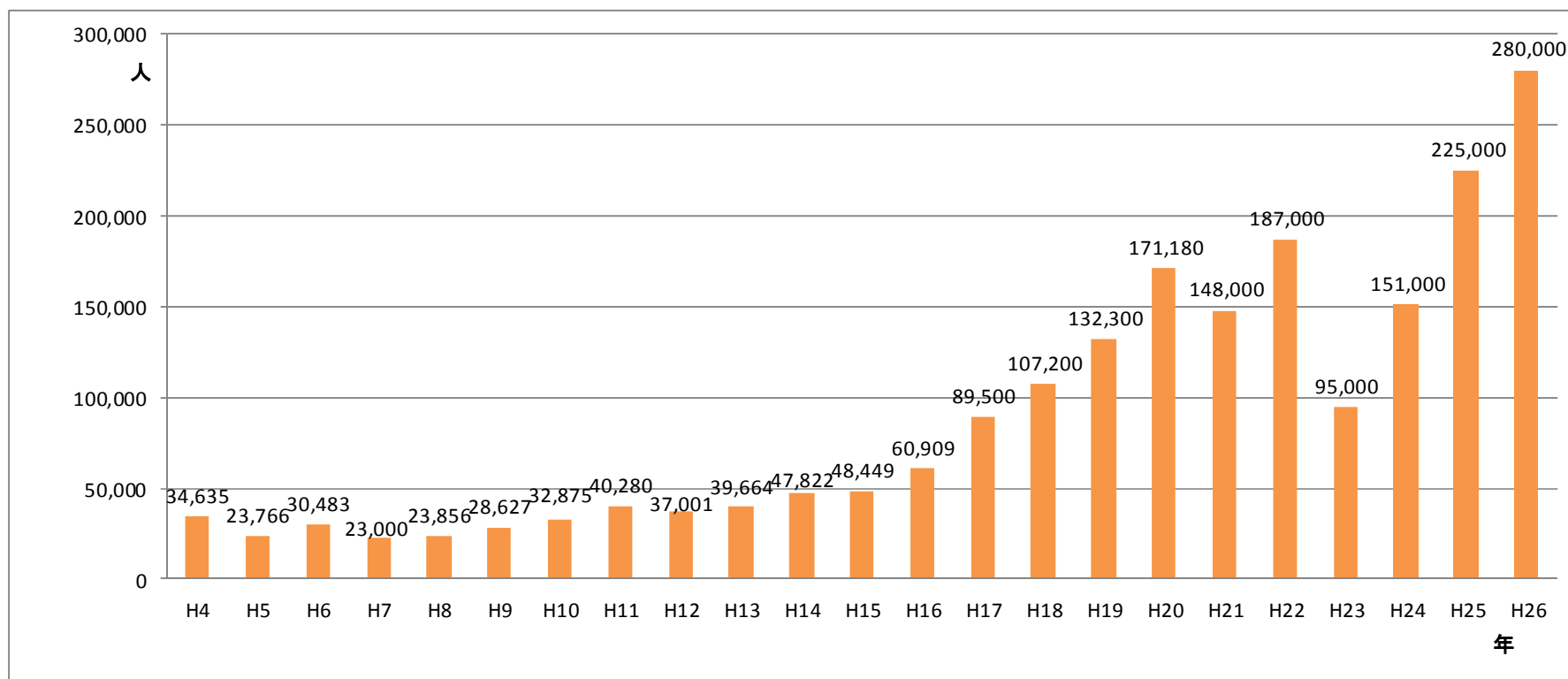
- 昇龍道プロジェクト(中部北陸9県)
- 北陸飛驒3つ星街道(金沢、南砺、白川郷、高山の連携)
- 松本・高山・金沢・白川郷の連携
- 富山県・高山市の連携
- 名古屋・金沢・高山・セントレアの連携
- JAPAN ALPS(富山、大町等との連携)

※VJ地方連携事業の実施等



1. 海外からの誘客促進の取り組み

◆ 外国人観光客数の推移(宿泊者ベース)



※ 平成16年以前は、市町村合併前の数値(旧高山市分)

2. 公衆無線LANの整備

◆ 経緯

- ・日本を訪れる外国人にとって、日本の通信環境を使う際にかかるコストが高いことから、無料でWi-Fiを利用できる場所を望む声が多く聞かれた。
- ・平成23年に観光庁が外国人旅行者に対して実施したアンケートにおいて「旅行中最も困ったこと」を聞いたところ、「無料公衆無線LAN環境が整っていない」という指摘が最多となっていた。



- ・近年増加傾向にある外国人観光客のニーズに対応するとともに、観光や緊急情報等を提供し、高山市を訪れる観光客が安心して快適に滞在できるよう受入れ環境を整備する必要がある。

2. 公衆無線LANの整備

◆ 目的

1. インターネット接続環境の提供

高山市を訪れる観光客が登録から7日間、無料で容易にインターネットに接続できるようにすることにより、観光客の利便性の向上を図るとともに、SNS等による当市の魅力の発信を促す。 ※利用に際し、アンケートにお答えいただく。

(居住国、来訪回数、滞在期間、旅行形態、メールアドレス)

2. 観光・緊急情報等の提供

観光客に対し、旬な観光情報や災害時の緊急情報等を提供することにより、観光客が安心して快適に滞在できるようにする。

3. マーケティングへの活用

観光客の国や地域などの情報を入手し、動向を把握することにより、その後の誘客活動に活かす。

2. 公衆無線LANの整備

◆ 整備地域

高山市の中心部及び飛驒の里

※主に外国人観光客が頻繁に歩く地域

※アクセスポイント:12か所、13基

- ・Wi-Fi電波は、半径100m超(論理値)に届くものを使用
- ・アクセスポイントまでは光回線を使用

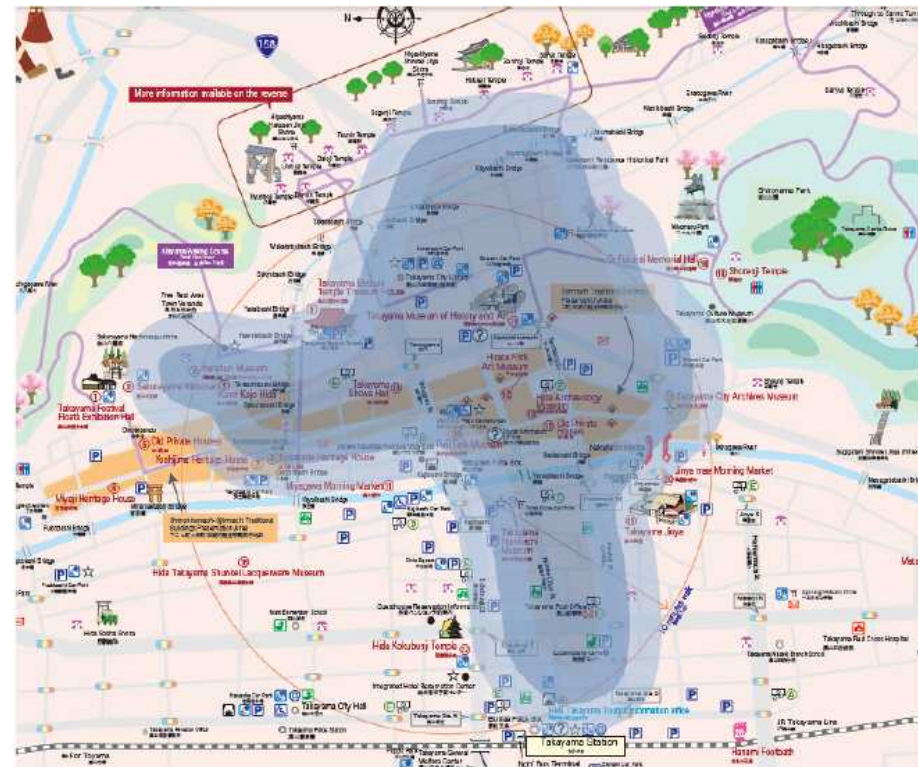


アクセスポイント



飛驒の里(観光施設)

整備エリアイメージ図



高山市の中心部

2. 公衆無線LANの整備

◆ 整備スケジュール

平成25年度 整備内容検討

平成26年4月 事業者決定(入札、契約)、8月 運用開始

◆ 事業費

平成26年度 7,111千円(実績)

※ハード機器、システム開発費、通信費(システム開発事業者設置のAP利用料)

※国の社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画関連)を活用予定

平成26年度補正額1,500千円(予算)

※地方創生を活用しAPを10基増設(通信費)

平成27年度 3,200千円(予算)

※システム保守料、通信費

◆ 受託事業者

ハード機器 ……三愛通信設備株式会社

システム開発 ……飛騨高山ケーブルネットワーク株式会社

アクセスポイント(通信回線を含む)提供 …… ”



2. 公衆無線LANの整備

◆ 利用方法

1. SSIDで「Free_Wi-Fi_Takayama」を選択

※Wi-Fiが利用可能なエリア内において操作可能

2. アンケートに回答(選択、記載)

※居住国、来訪回数、滞在期間、旅行形態(団体/個人)、メールアドレス

※その後、IDとパスワードをメールで受信(当Wi-Fi環境で受信可能)

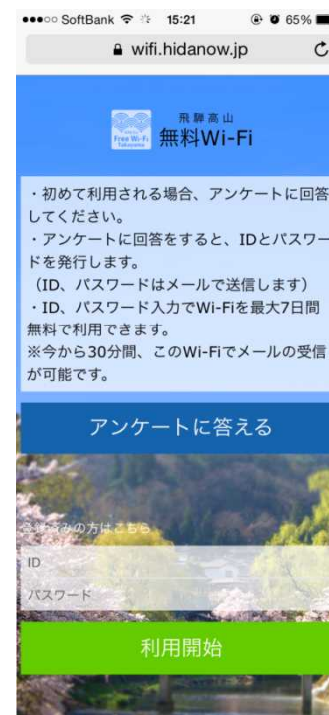
3. 登録手続き(ID、パスワードを入力)

※アンケートに回答してから7日間、Wi-Fiが利用可能

◆ 使用言語

日本語、英語、中文繁体字、中文簡体字、韓国語

※使用する端末の言語設定に応じて自動的に表示



画面(日本語版)



2. 公衆無線LANの整備

◆ 観光HP等の紹介

登録手続き後、観光HP等を紹介

- ・高山市観光ホームページ(多言語、モバイルサイトへ)
- ・高山市公式Facebook
- ・高山市公式微博(ウェイボー)
- ・JNTO(Safety tips for travelers)
- ・ Safety tips(災害アプリ ダウンロード)

◆ 周知方法

利用できる場所でのWi-Fiマークの掲示

観光案内所等でのチラシなどの掲示

観光HP等での紹介 等



画面(日本語版)



Wi-Fiマーク

- ・ Wi-Fi電波を象徴するデザインを高山陣屋の正面玄関にある「青海波」模様のように配列し、高山らしさを表現。
- ・ 絶え間なく広がる波の力と永続性を表現

2. 公衆無線LANの整備

◆ 利用実績（利用者の情報）

1. 利用者数	H26.8月～H27.5月 15,551人(51.2人/日) 言語:日本語22% 英語64% 中文繁体字11% 中文簡体字3% 韓国語0.3%
2. 居住国	日本19% 台湾8% オーストラリア6% 香港6% スペイン6% タイ5% マレーシア5% アメリカ4% イタリア4% 中国4% シンガポール4% フランス3% イギリス3% ...
3. 高山への来訪回数	日本人 1回43% 2回11% 3回6% 4回3% 5回以上37% 外国人 1回79% 2回11% 3回4% 4回2% 5回以上4%
4. 高山での滞在日数	日本人 1日36% 2日28% 3日11% 4日2% 5日1% 6日1% 7日以上21% 外国人 1日29% 2日39% 3日16% 4日5% 5日4% 6日2% 7日以上5%
5. 旅行形態	日本人 団体旅行85% 個人旅行15% 外国人 団体旅行76% 個人旅行24%
6. メール配信希望 (帰国後の観光情報等)	日本人 希望する20%(604人) 希望しない80% 外国人 希望する35%(4,352人) 希望しない65%

2. 公衆無線LANの整備

◆ 利用実績（情報の発信）

1. 観光情報の発信

- ・当日のイベントの開催告知（雨天等による中止の告知も可能）
- ・地場産品等の販売促進イベントの告知
- ・帰国後、海外で行うイベント(旅行博出展等)の案内 ……ファン確保
- ・詳細アンケートの実施 ……観光客の動向調査を踏まえた誘客、販促活動 等

2. 災害時等の緊急情報の発信

- ・平成26年8月17日発生 of 豪雨災害における外国人旅行者への情報提供 等(噴火、熊、豪雪)

※1時間に57ミリの非常に激しい雨を観測。また、降り始めから18日朝5時までの雨の量が386mmと、平年の8月、1か月分の2倍を超えた。

※主要観光地エリアを含む、市内9,243世帯(23,930人)に避難勧告を発令時に、外国人旅行者に対して、川には近づかない等の注意喚起、鉄道の運休情報、避難勧告発令等の情報を当公衆無線LAN登録者(7日前までの登録)全員に対してメールにて発信。

※メール送信状況 全702件(外国人630人、日本人72人)



2. 公衆無線LANの整備

◆ 見込まれる効果

1. Wi-Fi環境を整備することにより、高山での観光情報の入手が可能となるほか、利用者によるSNSを通じた旅先での旬な情報発信などにより、高山の魅力を広くPRすることができる。
2. 国内外からの観光客に対して、災害・防災情報の伝達手段を確保することにより、観光地としての安心・安全性を高めることができる。
3. 屋外でWEBページの閲覧やメールが利用できることから、来訪者にとって滞在中の利便性が向上する。
4. 観光客の動向を把握し、その後の誘客・販促活動等に活用する。



さらなる誘客促進、市内での地場製品の販売促進

2. 公衆無線LANの整備

◆ 今後の展開予定

1. 無料公衆無線LANサービスの提供

※システムの保守管理、通信費負担

2. 利用可能エリアの拡大

※飛騨高山ケーブルネットワーク株式会社の光回線提供エリアの拡大に

併せて、Wi-Fi利用可能エリアを拡大(奥飛騨温泉郷地域など)

※民間事業者(宿泊施設、飲食店、小売店等)、関係団体と連携してエリアを拡大

3. 誘客・物販・交流促進のための情報提供

※インターネットを通じたイベントの開催など、高山ファンの獲得と来訪促進

※地場産品の販路拡大、海外都市との交流促進のための情報発信

